

いこもの風

伊子茂小・中学校 児童生徒数						総計	令和5年 6月5日現在
小2	小3	小4	小5	中1	中3	32人	
9	3	3	3	6	8		

子供は誰しも才能を持っています!

校長 福元 親視

本日（7月20日）の終業式をもって、1学期の教育活動を終了しました。大きなけがや事故、心配されたインフルエンザやコロナウイルス感染症の影響もなく、全校児童が無事に学校生活を過ごすことができたこと、何よりうれしく思います。これも家庭や地域の皆様の御理解と御協力によるものと感謝しております。

さて、7月8日（土）に、1学期最大の行事である「伊子茂湾横断遠泳大会」を開催しました。天候は良かったのですが、風が強く波が高かったため、5マイル前の浜からツルノハシ辺りまで往復するコースに変更し実施しました。

子供達が泳いでいる姿やゴールのシーンは、とても感動するものでした。これまでに子供達は、一月程前から水泳学習に取り組んできました。海水に顔をつけられるようになった子、ビート板を使って泳げるようになった子、平泳ぎができるようになった子など、一人一人が自分のレベルに合わせた目標に向かって取り組みました。その姿こそがとてすばらしく、当日の姿と重ね合わせることで、より大きな感動と喜びにつながったのだと思いました。「子供ってすごいな」「力を秘めているんだな」と改めて気付くことでした。

子供は誰しも才能を持っています。見えにくく、いつ発揮するかも分からないものですが…。広辞苑では「ある個人の一定の素質、または訓練によって得られた能力」と書いてありました。どの子にも才能はあり、訓練することによって表に現れるという意味になります。どんな才能が子供に埋もれているか分かりませんから、まずは子供にいろいろな機会を与え、じっくりと観察すること。そして、子供自身が意欲・関心をもったもの、熱中しているもの、続けてやっているものがあつたら、励まし応援してあげる事だと思います。

昔、先輩の教師から教えてもらったことですが、子供をより伸ばすために必要な力は、『素直になる力』と『挑戦する力』、そして『継続する力』の3つと聞きました。素直に聞く子供でなければ、反省や修正ができない。失敗を恐れたら機会を逃す。簡単に投げ出しあきらめたら、その先にある成功体験が得られない。つまり、せつかく持っている才能を閉じ込めたままになるそうです。どちらにしても、私達大人が子供達の可能性の芽を見逃さないようにじっくりと見ることが肝心だと思います。そして、私達自身も夢や目標を持ち、3つの力を子供達に、その姿で示すことも大事かも知れません。

伊子茂湾横断遠泳大会

伝統が今年も継承されました。やりきった子供たちからは感動や達成感がいっぱい感じられました。ご協力・ご声援いただいた救護艇や伴泳者、保護者やたくさんの地域の皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



鎮西・実久地区小学校集合学習会は、7月10日（月）から2泊3日の日程で集団宿泊学習を実施しました。会場の奄美少年自然の家では、野外炊飯やテントでの宿泊などの活動にみんなで協力して笑顔で取り組んでいました。



かごしまジュニア検定

7月14日（金）の「県民の日」に中学生全員で難問にチャレンジし、5人の合格者が誕生しました。これからもふるさと奄美や鹿児島について、学びや体験を積み上げていきたいです。

8・9月の主な行事



- 8/1日（火）出校日，エイサー，PTA全体会
- 9日（水）町子どもサミット
- 14日（月）学校閉庁日（～16日（水））
- 21日（月）出校日，エイサー練習
- 27日（日）PTA奉仕作業（8:50～）
- 9/1日（金）2学期始業式
- 3日（日）PTA奉仕作業・予備日
- 4日（月）中3：第2回実力テスト（～5日）
- 6日（水）鹿大教育学部学校環境観察実習
- 12日（火）運動会予行
- 15日（金）町教育長学校訪問
- 17日（日）大運動会（荒天時順延：18日（月））
- 26日（火）島口劇オリエンテーション
- 27日（水）舞台設置（16:15～）